

### 環境科学研究科フェロー

本研究科との学術交流を通じ、本研究科の研究および教育に顕著な功績があったと認められる外国人研究者等に対して授与するフェローの称号を設け、平成15年10月1日より施行された。フェロー称号授与基準は、○将来も継続して学術交流を実践する者、○環境科学研究科に所

属する前の実績も含め概ね3年以上継続した学術交流実績をもつ者、○助教授相当以上の者となっている。

平成15年度において環境科学研究科フェローの称号を授与された外国人研究者等は以下の通りである。

Michael C. Fehler 氏  
(Group Leader of  
Geophysics Group,  
Los Alamos National  
Laboratory (LANL),  
USA)



地震学ならびに地震波による地下計測に関する世界第一線の研究者として著名であり、本務の LANL 当該部門長のほか、Bulletin of the Seismological Society of America の編集委員長や数々の国際会議の組織委員等を務めている。これまでの本学との密接な研究交流、共同研究を通じ、20 数編に及ぶ共著論文を発表し、当該研究ならびに学生の教育に顕著な功績を有している。

Hugh D. Murphy 教授  
(Petroleum Institute,  
Abu Dhabi UAE)



世界初の高温岩体地熱開発プロジェクトのリーダーとして世界的に著名であり、その後米国 Colorado School of Mine 教授として地熱開発工学、石油開発工学、環境工学等の教育・研究に携わってきた。その間、当研究科との密接な研究交流を行うとともに、客員研究員として本学に6ヶ月滞在して教育・研究に貢献する等、顕著な功績を有している。さらに、過去3回にわたり本学外部評価委員として来日し、本学の教育・研究に対し助言を行っている。

Philip G. Meredith 教授  
(University College  
London, UK)



岩石ならびに氷の破壊物理に関する世界第一線の著名な研究者である。特に、複雑な裂システムの破壊物理や温暖化による南極の棚氷破壊に関する新規な研究領域を開拓している。本学との交流に極めて積極的で、客員研究員として本学に1年間滞在するなど教育・研究に多大の貢献をしてきたことに加えて、これまで5名の研究スタッフや数多くの学生を派遣し研究交流を促進させるなど、顕著な功績を有している。

Alfons Georges Buekens 教授  
(Free University of  
Brussels, Belgium)



化学工学を基盤としてプラスチックの化学リサイクル、PCBs の分解処理、廃棄物焼却や金属原料予備処理プロセスからのダイオキシン類の発生抑制など、物質リサイクルと環境問題に関連する幅広い分野で国際的に活躍している。ベルギーで発生した鶏肉のダイオキシン汚染問題の原因解明と事後処理では重要な役割を果たしている。

### 国際協定

本研究科と密接に連携し、共同研究・教育を進める目的で、すでにコロラド鉱山大学（米国）、韓国科学技術院（韓国）、青島科学技術大学（中国）、陝西科学技術大学（中国）との間に国際協定を締結しているが、今年度新たに、以下の大学と協定を締結した。

#### ○ボルドー第1大学（フランス、大学間協定）

1441年に教皇Eugene7世の勅書によってボルドーに設立された高等教育機関を前身に、1896年にボルドー大学が設立された。1971年、ボルドー第一大学が「法律学、経済学及び科学」の大学として編成され、1995年にはボルドー第一大学とボルドー第四大学に分割された。2001年にボルドーに存在する4つの大学がボルドー大学連合として再編され、ボルドー第一大学はその中核大学となっている。

ボルドー第一大学には、約11,500人の学生が在籍し、毎年、博士約160名、DEA（専門研究課程修了者）+DESS（教授試験受験資格者に必須の高等研究免状）約650名、Maitrise（修士）約1,000名、Licence（学士）約1,100名、その他Ingenieur（技術士）の資格取得者165名を輩出している。教授等の教員数は約900名であり、技術スタッフ、事務スタッフ等約1,400人が在籍している。

#### ○タシケント国立経済大学（ウズベキスタン共和国、部局間協定）

タシケント国立経済大学は、ソ連邦時代初期の1931年、中央アジア地域に金融・経済専門家を養成するために設立されたTashkent State Financial Institute（タシケント国立金融研究所）が母体である。第二次大戦後、さらにこれを強化するために、会計・監査学部、経済・統計学部が設立された。その後、さらに拡充され5学部、通信講座3学部となった。

1991年にソ連邦から独立すると、現在のタシケント国立経済大学へと再編された。その後、市場経済への移行という試練の中で、資本主義経済に関する教育の充実に重点が置かれるようになった。欧米や国際機関からの援助を背景に新しい教育プログラムを意欲的に展開してきている。

現在は7学部、通信講座3学部、5つの教育プログラムから構成されており、学部学生7,134名、大学院修士課程学生数983名、博士課程（Aspirantura、これを終了すると博士候補生となる）137名、博士課程（Doctorantura、これを終了すると学術博士となる）2名、博士論文を準備している各種コースの大学院博士課程

（Doctoral courses）の研究者86名が在籍している。教授等620名の教員が在職し、研究、教育、管理等の業務を行っている。

#### ○国立成功大学（台湾、大学間協定）

国立成功大学は、台湾の古都である台南市に台南工業大学として1931年に創立された。その後1946年に台湾省工業大学、1956年に台湾省成功大学となり、1971年に国立成功大学に名称変更された。教育・研究面でのアクティビティは非常に高く、台湾内では国立台湾大学に次ぐ第2番目にランキング（Top 500 Universities in the Worldより）される総合大学である。

国立成功大学には、広大なキャンパスに点在する8つのCollegeで構成されている。学部生約9,500人、大学院生約7,000人、研究生約2,500人が在籍しており、1,088名の教員、1,127名の事務官、1,949名の付属病院職員などのスタッフが研究、教育、管理等の業務に従事している。